

自然豊かなところに人は集まり、
人集まるところにコミュニティができる。
コミュニティがあり、暮らしがあるところに知恵と技がある。
知恵と技があるところに神が宿り、
神が宿るところに「楽しさ」がある。
「楽しさ」があるところ、・・・・それが神楽（しぐら）

神楽地域づくり計画書

－暮らしそのものが宝になる神楽－

神楽地域は、自然・歴史・文化、そして人々の暮らしを
地域の宝として捉え、暮らしそのものが宝となる神楽地域を創造していきます。
神楽自治振興会は、「情報共有と担い手づくり」「自然環境の保全」
「健康と支え合い」「防災と連携」の4つを柱として
住民が安心して暮らし続けられる地域づくりを進めます。

一般財団法人 神楽自治振興会

〒669-3821

兵庫県丹波市青垣町検倉 414 の5 番地 TEL・FAX 0795-87-5808

URL <https://sigura.jp/>

2026・4月発行

Check!



神楽地域づくり計画書
全編はこちら

一般財団法人 神楽自治振興会

令和8年4月～令和18年3月

神楽地域の現状と課題



過去10年間の成果と課題

2016～2025年の神楽地域づくり計画の方針・内容をもとに、この10年間の成果と課題を整理しましたので、一部抜粋してご紹介します。
詳細については、ウェブサイトに掲載しています。



詳しくは
こちら

	成 果	課 題
(1) 神楽の自然とともに暮らす	・自然観賞会を通じ、地域住民の自然への理解が深まった ・地域外からの参加者も多く交流人口拡大につながった	・人口減や高齢化の影響を受け、今後農地の維持管理が困難となること懸念され、耕作放棄地の解消や農地の有効活用に向けた取り組みが必要
(2) 神楽の暮らしを支える	・自治会単位でのサロン、いきいき百歳体操の取り組みが広がっている ・田舎暮らし体験により、移住定住の増加につながるとともに、地域内交流も深まった	・災害への備えの意識が低いことから、災害対策への意識改革が必要 ・免許返納後の生活を見据えた移動支援の検討が必要 ・子どもたちが学びの場へ参加しやすい移動手段の確保が求められている
(3) 生活文化を磨き世界とふれあう	・「神楽の郷お宝 BOOK」が発行され、次世代に神楽の歴史、伝統行事を残すことができ継承の一端を担っている ・「しぐら春の祭典」は、地域住民や各種団体と連携を図り、年々規模を拡大し取り組むことができている	・「集落の駅神楽」の活動拠点としての機能を十分に発揮できるような計画づくりが必要 ・組織の在り方も含め、抜本的な見直しを地域住民みんなで検討していく必要がある

基本方針・実施計画



過去10年間の取り組みや、神楽地域の現状、今後の変化を見据え、アンケート(全住民・小学生・関係人口)事業者や活動者へのヒアリングの結果などから、次の10年間の神楽の地域づくりの基本方針を次の4つとします。

方針1 地域の情報をみんなで共有し、地域づくりに関わる人を広げよう

- ・神楽地域の出来事や活動、地域資源の情報をわかりやすく発信し住民同士つながりやすい環境をつくります。
- ・地域の課題や魅力を共有することで、地域づくりに参加する人を増やし、世代を超えて協力し合える地域を目指します。



詳しくは
こちら

実施計画

- テーマ 01 ▶ 単位自治会の見直し**
- ・誰もが、自治会の活動に携わる仕組みづくりに向けた相談窓口の設置
 - ・役員数と役割の見直しに向けた取り組み
- テーマ 02 ▶ 振興会による地域全体での情報共有・参加機会づくり**
- ・神楽地域独自の空き家バンクの再検討
 - ・イベントなどに関わるサポーター登録制度の検討と運営
 - ・子ども会活動など神楽地域全体で取り組めるイベントの洗い出しと検討



方針2 神楽の自然を守り、将来に繋いでいこう

- ・神楽の豊かな森や里山、川や田畑などの自然環境を守り、次世代に引き継ぐための活動を進めます。
- ・地域の自然を活かした学びや体験の場をつくり、自然と共に暮らす地域の魅力を高めます。



詳しくは
こちら

実施計画

- テーマ 01 ▶ 森林を守る**
- ・山の管理方法についての学習会の実施
 - ・公的施策での森林整備の検討
- テーマ 02 ▶ 農地を守る**
- ・農地の集約や営農組織づくりの検討
 - ・既存の農業従事者を応援するしくみの検討
 - ・農業を学ぶ場づくり
 - ・他団体と連携した農地を守る仕組みづくり
- テーマ 03 ▶ 神楽の自然を知り、守る**
- ・稲田オーナー制度(稲土)の継続支援
 - ・ヒメボタル等の自然観賞会の継続
 - ・高源寺のカエデやモミジ、クリンソウやバイカモを地域で知り守る取り組みの実施

方針3 健康で、つながり支え合う地域にしよう

- ・高齢者をはじめ、誰もが安心して暮らせるように、見守りや生活支援交流の場づくりを進めます。
- ・健康づくりや福祉活動を通じて、住民同士が支え合い、孤立を防ぐ地域づくりを目指します。



詳しくは
こちら

実施計画

- テーマ 01 ▶ 交流の場の充実**
- ・集いの場の充実
 - ・こども食堂や地域食堂の充実
 - ・学びの場の創設の検討
- テーマ 02 ▶ 生活支援**
- ・デマンドタクシーの利用促進、青垣地域活性化ネットワーク協議会と連携した青垣地域の移動手段の検討
 - ・見守り活動の充実
- テーマ 03 ▶ 健康づくり**
- ・いきいき百歳体操、グランドゴルフ等の継続実施
 - ・しぐらスポーツクラブと連携した健康づくり
 - ・全住民が参加できる健康チェックイベントの開催



方針4 災害に備え、安全に暮らせる地域をつくろう

- ・災害時に住民同士が助け合えるよう、日頃から防災意識を高め、地域の連携体制を整えます。
- ・地域の危険箇所の把握や避難体制づくりを進め、安心して暮らせる地域を目指します。



詳しくは
こちら

実施計画

- テーマ 01 ▶ 災害に備える**
- ・自主防災組織体制の強化
 - ・災害時の活動を円滑に行う仕組みの整備
 - ・消防団員の人材確保や負担軽減について地域ぐるみで支援する仕組みづくりの検討
 - ・インフラ整備に向けた、青垣地域活性化ネットワーク協議会等と連携した要望活動
 - ・雪害対策の体制づくり
- テーマ 02 ▶ 要支援者の把握と支援**
- ・災害時に支援が届く体制の構築
- テーマ 03 ▶ 見守りあいの構築と体制づくり**
- ・顔の見える関係を築き、助けあいのネットワークづくり